

平成 2 6 年

亀山市教育委員会 9 月定例会会議録

## 亀山市教育委員会 9月定例会会議録

### 1. 日 時

平成26年9月30日（火）9時30分開会

### 2. 場 所

亀山市役所西庁舎3階 第五会議室

### 3. 出席委員

1番委員	岡 田 香
2番委員	肥 田 岩 男
3番委員	井 上 恭 司
4番委員	伊 藤 ふじ子
5番委員	大 萱 宗 靖

### 4. 欠席委員

なし

### 5. 議事参与者

教育次長	佐久間 利 夫
教育総務室長（以下総務室長という。）	原 田 和 伸
学校教育室長（以下学校室長という。）	服 部 裕
教育研究室長（以下研究室長という。）	西 秀 人
生涯学習室長（以下生涯室長という。）	亀 山 隆
図書館長	久 野 友 彦
歴史博物館長（以下歴博館長という。）	小 林 秀 樹
まちなみ文化財室長（以下まち室長という。）	嶋 村 明 彦
教育総務室主幹（書記）	木 崎 保 光
教育総務室主査（書記）	水 野 英 樹

## 6. 会議録署名者指名

1 番委員 (岡 田 香 委員)

## 7. 前回会議録の承認 (第 9 回臨時会、8 月定例会)

承認

## 8. 教育長報告

教育長 教育長報告の主なものを「平成 26 年 9 月定例会教育長報告」に基づき報告。

8 月 22 日、毎年、亀老連からいただいている雑巾を今年度も寄贈していただいた。このことは、市の広報に掲載されているのでご覧いただきたい。

同日、おもしろ歌舞伎があった。これは、生涯学習室が出前講座の一つとして実施している歌舞伎の講座である。当日は、東員町から子ども歌舞伎のメンバーが来て、子どもたちが歌舞伎を演じる姿を見学させていただいた。非常に良い形で伝統文化が根付いていると感じた。

26 日、幼児教育研修会、教職員研修講座が開催された。両講座ともに先生方が熱心に、深く興味を持って研修に臨んでいただいた。午前中は、体力の向上について、インストラクターから子どもたちが楽しく体を動かせる実践的な方法を指導いただいた。参加者は、幼稚園・保育所・小中学校の先生方で年齢層も幅広く、講師の方にもたくさん参加いただいた。午後からはスーパーティーチャーと呼ばれる北九州市の菊地先生を招いて、授業のやり方、子どもとの接し方、仲間づくり、学級づくりについて話をいただいた。この講座は、会場を変えなければならぬほど盛況で、応募がたくさんあった。2 学期以降の実践に応用していただけるような視点からの講義であった。

28 日から議会が始まった。

9 月 3 日、杉の子特別支援学校石薬師分校ゆうあい棟開所式に出席した。石薬師分校は、これまで非常に手狭であったが、新しくゆうあい棟が完成したことで、広々とした空間で作業等が進められるものと認識している。

5日、スポーツフォーラム2014に出席した。スポーツ審議会審議員として出席したもので、三重高校が特別表彰された。また、県のそれぞれの分野でスポーツの推進に功績のあられた方の表彰もあった。亀山市からは中村愛さんと山中初美さんが表彰を受けられた。

8日から11日にかけて議会の質問があった。教育委員会関連では、主に学力テストの結果や新教育委員会制度、川崎小学校改築事業について質問があった。

12日、第2回三重県スポーツ推進審議会に出席した。県のスポーツ推進条例策定に向けての審議をさせていただいた。

20日、27日には、中学校の体育祭、小学校の運動会が無事に天気も良く開催できた。

井上委員

3点ほど質問したい。

議会で、学力、教育委員会制度、川崎小の改築について質問があったとのことであるが、教育委員会として真摯に受け止めなければならない質問はなかったのか。また、答弁の中で検討や研究と答えたものはなかったのか。

次に、9月25日の幼稚園園長会で、子ども・子育て支援新制度について、議題・話題はなかったのか。

教育長

子ども・子育て支援新制度については、庁議の段階で検討することがありますが、その庁議がまだ開催されていない状況です。よって、今回の園長会は、2学期に向けての定例会であり、子ども・子育て支援新制度については、議題に上がっていません。

井上委員

庁議に臨むにあたり、現場の意見を集約していただきたい。

教育長

子ども子育て会議には、幼稚園長会の代表が委員として参加していただいています。また、他の場でも意見は聴かせてもらっています。現在、会議で審議しているのは制度の根幹部分であり、現場の意見を反映させるところまで至っていません。

1点目の市議会の関係ですが、尾崎議員から今回の学力テストの結果について、亀山市の子どもはどうであったのかと質問があったため、県内の平均正答率よりも低かったと申し上げたら議場の雰囲気非常に重くなったと感じました。この時点で分析できていた結果は伝え、質問紙調査の結果から見えることで亀山市では数字的に見て経験年数の浅い先生が多いことや外国にルーツを

持つ子は日常生活の言語はできているが、学習言語は十分でなく授業の理解が難しいこと、学校の図書館司書の数が少ないことが全国的な数値と比較して亀山市の課題であり、今後、こういった結果を踏まえて、現在続けていることや今後取り組まなければならないこと検討していくと答えました。

教育委員会制度については、まだ何も決定していないため、新教育長をどうするのか等、未定であると答弁しました。これからの検討課題ですが、総合教育会議が設置されることや大綱が策定されることも答弁しました。

教育次長

議案質疑では、土曜授業の質問がありました。土曜授業においては、県からの委託事業が津市と亀山市を対象に実施されます。その中で、土曜授業は何を目的に行うのかという、学校教育ビジョンの目標達成に向けて取り組むものであると答弁しました。

また、危険ドラッグについて、小中学校で教育が行われているのかという質問があり、小学校、中学校それぞれ保健体育等の授業の中で教育しており、他には薬物乱用防止教室を開催し、警察OBらを招いて話をしてもらっていると答えました。検討・研究では、川崎小学校の改築に関し、8月に契約したばかりで具体的な設計内容が決まっていないと答弁し、議員から内容について問われましたが、今後、検討させていただくと答弁しました。また、能褒野地区では近年、大雨による浸水被害があるため、川崎小学校のグラウンドに調整池機能を持たせられないのかという意見が出ました。これについては、小学校のグラウンドは子ども達が遊ぶために使うことが第一に優先されるべきであり、グラウンドがしばらく使えなくなることはできる限り避けるよう考え、一方で、グラウンドは相当な面積があるため、近隣へ雨水が流入することも避けるよう工法を検討したいと答弁しました。教育委員会制度については、教育長から話があったとおり、経過措置で平成27年度になっても旧体制で継続できるとなっているが、その間の体制をどうするのかとの質問があり、現時点では決まっていないと答弁しました。

井上委員

新教育委員会制度は、現制度で進めていくことが可能なのか。現教育長の任期は、平成27年2月で切れるがどうなるのか。

教育次長

平成27年2月22日からの4年間は、現体制を継続させるこ

とが可能です。

委員長 制度的には可能となっているが、どこか早い段階で移行するのが望ましい。

岡田委員 26日の土曜授業検討会は何をしたのか。

学校室長 この土曜授業検討会は、県の土曜授業の検証事業を受けるにあたり、9月議会に予算補正議案を出させていただいて、その事業に則って進める会議が10月以降に始まります。今回の会議は、昨年度から引き続いての5回目の検討会で何の事業にも該当しないものです。出席者も無償で来ていただいているPTAの関係者などです。今まで、亀山市の土曜授業をどうしていくか検討してきており、今年度は検証の年と位置付けています。そこで、どのような検証をするのか話し合いました。この9月からほとんどの学校で1回目の土曜授業が始まりました。土曜授業が実施されての感想等を聞きました。加えて5回目ではありますが、今回からスポーツ団体の事務局長に入ってくださいました。概ね大きな問題はなく進んでいるとのことでした。ただ、スポーツ団体の一部から、特に小学校において、土曜授業の実施日がバラついており、試合が組みにくいとの声がありました。できれば、見直すところは見直していただきたいとのことでしたが、基本的には学校が実施するにあたっては協力すると言ってくださいました。次回からは事務局が教育研究室に移る予定です。アンケート等を実施しながら検証していきます。県の事業を受けての検証作業であり、有識者にも入っていただく予定です。

井上委員 土曜授業に関わって、学校教育室の10月の予定で21日に土曜授業等実施検証委員会とある。土曜授業検討会にはない「等」が入っているのは、県の事業を受けたことと関係しているのか。または、これまでの検討会と役割が異なるのか。「等」であれば土曜授業以外に何を検討するのか教えていただきたい。

学校室長 土曜授業等実施検証委員会の中心となるのは教育研究室です。今までも教育委員会事務局内の4室の室長は当然のことながら出席しており、特に教育研究室と学校教育室は連携・協働して取り組んでいます。委員会の名称は、この事業に則った名称であり、「等」は全国的には土曜授業と土曜学習活動があるため、付いているものです。亀山市の場合は、厳密に言うと「等」は必要あり

ません。

井上委員  
学校室長

検証委員会と検討会は別の組織ということか。  
これまでの検討会のメンバーに大学教授などの有識者に入  
りて、発展解消するものです。10月以降に委嘱状  
も交付し、正式なものが始まる予定です。

(ほかに質問はなく、教育長報告を終わる。)

## 9. 議事

委員長

議案第40号「人事案件について」を上程し、事務局の説明を  
求める。

教育次長  
委員長

(提案理由説明)

議案第40号は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組  
織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書に基づき、非公  
開に当たるので各委員に諮る。非公開としてよいか。

(全委員異議なし)

議案第40号「人事案件について」は非公開とする。関係職員  
以外は退室を願う。

(関係職員以外退室)

《非公開》

(議案第40号は可決される。)

(退室した職員入室)

## 10. 報告事項

委員長

報告事項1「平成27年度亀山市立幼稚園入園児募集要項につ  
いて」説明を求める。

(総務室長説明)

大萱委員

「関幼稚園に入園できるのは、原則として亀山市立関小学校区  
に居住する幼児です。」となっているが、関幼稚園は、給食があ  
るのに保育料は同じなのか。

総務室長

給食費は別途いただいています。また、預かり保育についても  
3,500円を別途いただいています。

預かり保育の要件は、合併以降続いているもので、見直しを検  
討していく必要があると考えています。

大萱委員

関幼稚園は、手厚いので人気があるのかと思っていた。

総務室長           今の条件であれば、関幼稚園が定員オーバーになることはありません。現在、3歳児の定員が満員であるのは他の小学校区から受け入れているからです。近年、抽選になったことはなく、二次募集により満員になりました。

井上委員           例えば、井田川幼稚園で3歳児は定員の25名募集、4歳児になれば、定員が10名増えるので、10名募集は分かる。5歳児も10名募集している、ということは、現在の4歳児に25名しかいないということになる。他の園でも4歳児、5歳児は定員に満たない傾向にある。市内には保育に欠ける子がたくさんおり、保育園に行くことによって、子どもが少なくなっている中、幼稚園の園児が減っているのか。このような状況を幼稚園、保育園の現場はどのように考えているのか。保育園は大盛況で幼稚園は少なく定員割ればかり、一方で、私立幼稚園は保育料が高いにも関わらず盛況である。この現状をどう分析し、対策をしてきたのか。

総務室長           近年、幼稚園も保育所も3歳児から入る傾向にあります。よって、幼稚園では各園とも3歳児は抽選になり、待機になる方が見えます。抽選に外れた方の中には、私立に行く方もみえます。公立の人気の無いのではなく、3歳児の定員が少ないことで、このような状況になっているものです。

井上委員           3歳児の需要をすべて受け入れることはできないのか。

総務室長           過去に3歳児の定員増を検討しましたが、現在の25名でも入園当初は保育時間を短くしているような状況でもあり、実施にまでは至りませんでした。

井上委員           現状のまま定員を増やすのではなく、部屋や職員を増やすことで、定員を35人まで増やせないのか。

教育長           3歳児の定員を増やすことについては、これまであまり検討されてきませんでした。子ども子育て会議において、他にも課題があるので、この視点も取り入れるようにします。

井上委員           水曜日も14時まで受け入れたり、給食を提供するなどを実施すれば、状況に変化が生じるのではないか。

(ほかに意見はなく、報告を終わる。)

委員長           報告事項2「平成26年度亀山市教育研究会指定校発表への参加について」説明を求める。

(研究室長説明)



- 委員長 亀山西小学校に岡田委員、井上委員、亀山南小学校に大萱委員が行っていただくということでお願いします。
- 井上委員 一箇所違和感を覚えた。亀山西小学校の「授業研究会の見どころ」の「子ども」欄の「気づきを発見し」とはどういう意味か分からない。
- 研究室長 自分自身の中で「気づき」から始まっていくという意味です。  
(ほかに意見はなく、報告を終わる。)
- 委員長 報告事項3「図書館利用状況について」説明を求める。  
(図書館長説明)  
(意見はなく、報告を終わる。)
- 委員長 報告事項4「工事及び委託事業の発注状況について」説明を求める。  
(総務室長、まち室長説明)  
(意見はなく、報告を終わる。)
- 委員長 報告事項5「教育委員会行事報告及び予定表について」説明を求める。  
(総務室長、学校室長、研究室長、生涯室長、図書館長、まち室長、歴博館長から説明)  
(意見はなく、報告を終わる。)

## 1 1. その他

- 研究室長 (「学校文化公演について」説明する。)
- 井上委員 行事予定にある「ザ・点検(事業仕分け)」であるが、教育委員会の事業も6つくらい対象となっている。それぞれの事業は各室長が責任を持って評価している。また、外部評価でも大いに評価する、大いに期待すると励ましの言葉をいただいている。さらに、教育委員会でもその評価を認め、議会に報告している。それにも関わらず、点検の対象となっているが、対象事業の廃止や縮小は許されないという強い気持ちで臨んでもらいたい。点検では室長ではなく、担当者が説明することとなっている。各室においては、しっかり準備をして臨んでもらいたい
- 教育長 各室ともに室長の指導の下、しっかり準備しています。また10月中旬に庁議でこのことが議題となります。教育委員会からの意見もその場でしっかり伝えます。

委員長            10月の定例会は23日（木）13時30分からとする。

## 12. 閉会

11時10分